

3章 Java のバージョンについて

3. 1 Java バージョンの確認方法

ご使用になるパソコンに、Java がインストールされているか確認します。

インストールされている場合は、インストールされている Java のバージョンを確認してください。

Windows Vista、Windows 7/8.1（32bit）をご利用の場合

- JRE 7 UPDATE 1 5
- JRE 7 UPDATE 4 5
- JRE 8 UPDATE 2 5

Windows 7/8.1（64bit）をご利用の場合

- JRE 8 UPDATE 2 5

ご使用になるパソコンの J a v a のバージョンは、次の手順で確認できます。

（１） スタートメニューより「コントロールパネル」を開きます。

• Windows Vista／Windows 7 の場合



• Windows 8.1 の場合

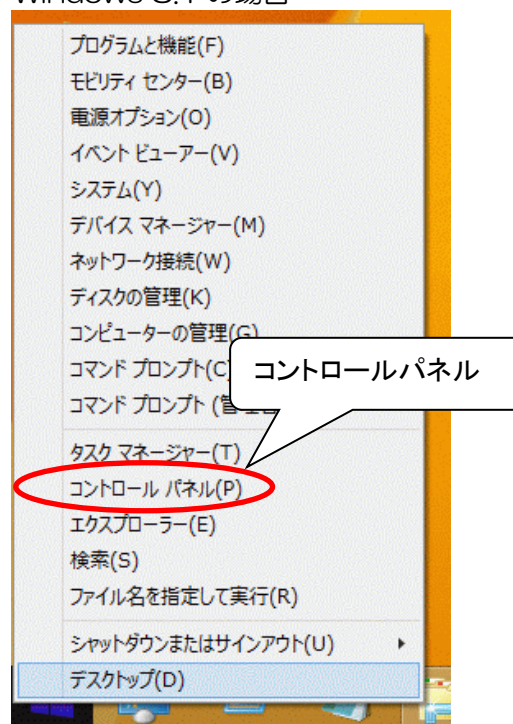


図3.1-1 コントロールパネルの表示

(2)「コントロールパネル」の表示方法を WindowsVista の場合は「クラシック表示」、Windows7/8.1 の場合は「大きいアイコン」または「小さいアイコン」に変更します。

Java のアイコンが表示されない場合 ⇒Java がインストールされていません
第4章を参照の上、Java のインストールを行います

Java のアイコンが表示される場合 ⇒Java のアイコンをクリックします。
下記手順にてバージョンを確認してください

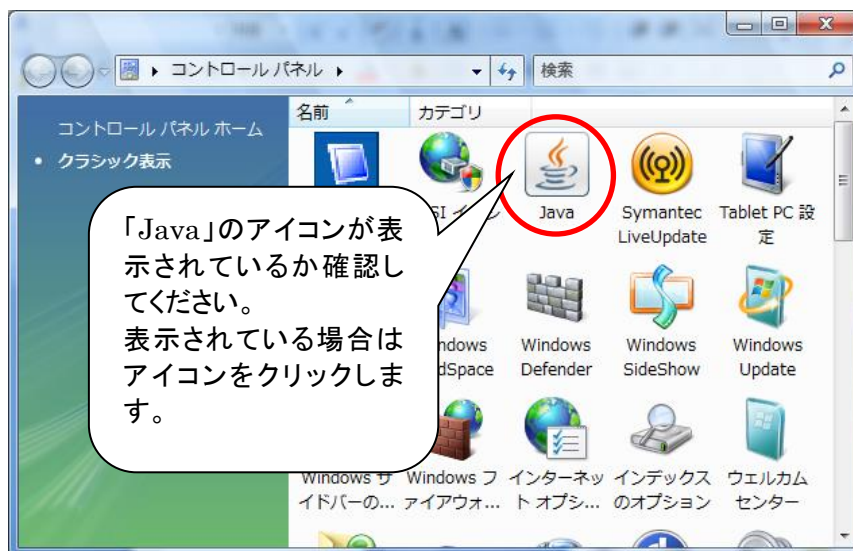


図3.1-2 Java のバージョン情報確認画面④

(3)『図3.1-3 Java コントロールパネル』で「バージョン情報」をクリックしてください。

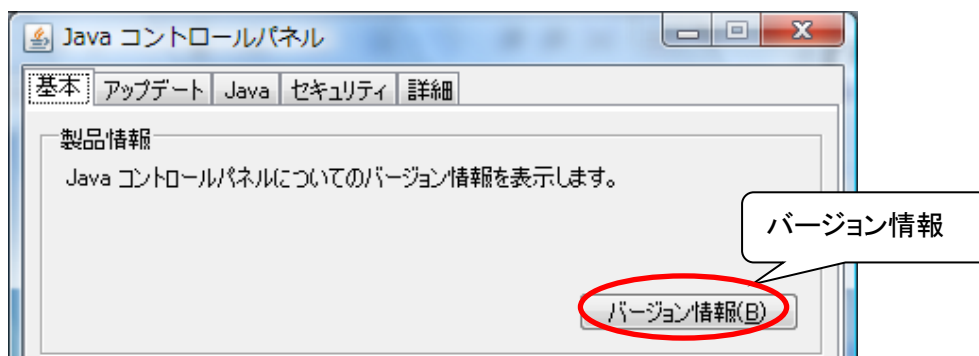


図3.1-3 Java コントロールパネル

- (4) 『図 3.1-4 Java について』で
Java のバージョンを確認することができます。



図3.1-4 Java について

※注 画面イメージは、OS 等により若干表示が異なる場合があります。
下のケースごとに次の章へ進んでください

ケース① Java がインストールされていない場合 ⇒第4章へ

ケース② 動作対象外の Java がインストールされている場合 ⇒3.2 へ

ケース③ 動作対象(※)の Java がインストールされている場合 ⇒第5章へ

(※) JRE7 UPDATE1 5

JRE7 UPDATE4 5

JRE8 UPDATE2 5

(Windows7/8.1 (64bit) をご利用の場合はこちら JRE8 UPDATE2 5のみ)

3. 2 Java のアンインストール（ケース②の場合）

注意

この作業は、電子入札システムが対応していないバージョンの Java がインストールされている場合、競合を避ける為に削除して頂くものです。

現在インストールされている Java を他のシステムで使用している場合は影響を及ぼす可能性があります。

削除作業はご自身の責任で行ってください。削除作業を起因とする誤作動・不具合やそれらに限らない損害および障害は、一切その責任は負いかねますので、ご了承ください。

Java を削除できない場合は、別のパソコンで電子入札を行ってください。

（１） スタートメニューより「コントロールパネル」を開きます。

・ Windows Vista／Windows7 の場合



・ Windows 8.1 の場合

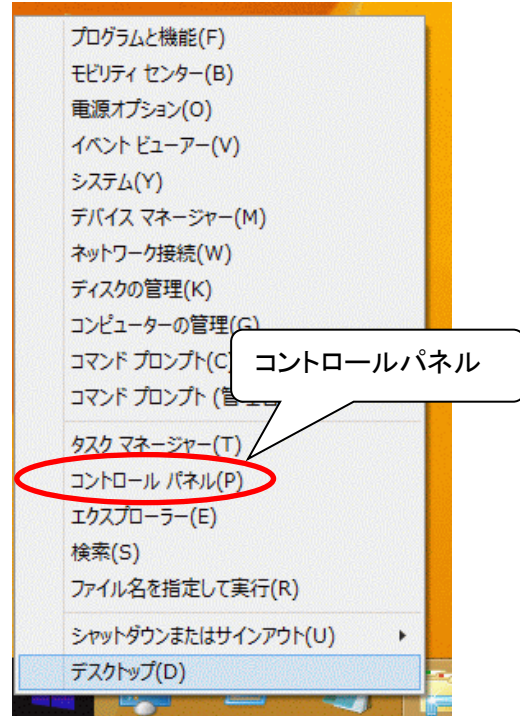


図3.2-1 コントロールパネルの表示

(2)『図 3.2-2-1 「コントロールパネル」画面①』または『図 3.2-2-2 「コントロールパネル」画面②』で、「プログラムと機能」メニューをダブルクリックすると、『図 3.2-3 プログラムと機能①』が表示されます。

●[表示]メニュー[詳細]表示の場合

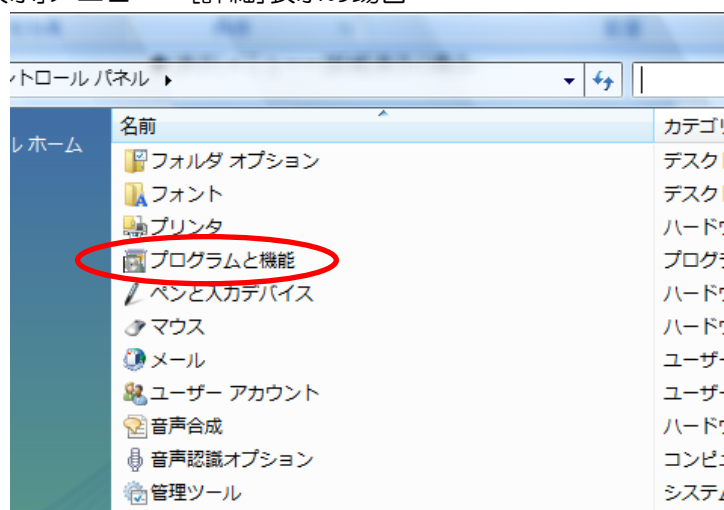


図3.2-2-1 「コントロールパネル」画面①

●[表示]メニュー[中アイコン]表示の場合

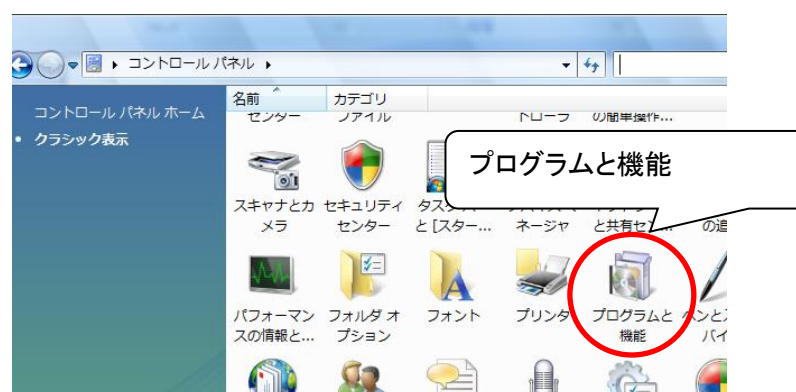


図3.2-2-2 「コントロールパネル」画面②

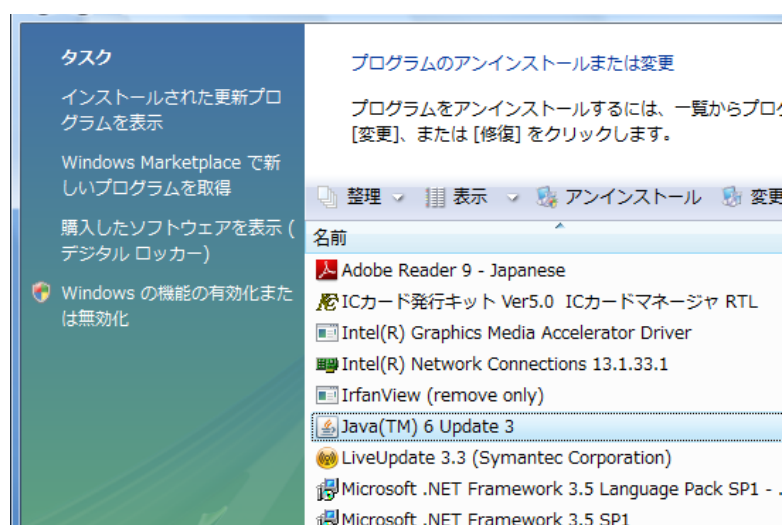


図3.2-3 プログラムと機能①

- (3) 『図 3.2-3 プログラムと機能①』をスクロールし、アンインストールする不要な Java バージョンのプログラムを選択します。アンインストールする場合は、「アンインストール」を押下します。

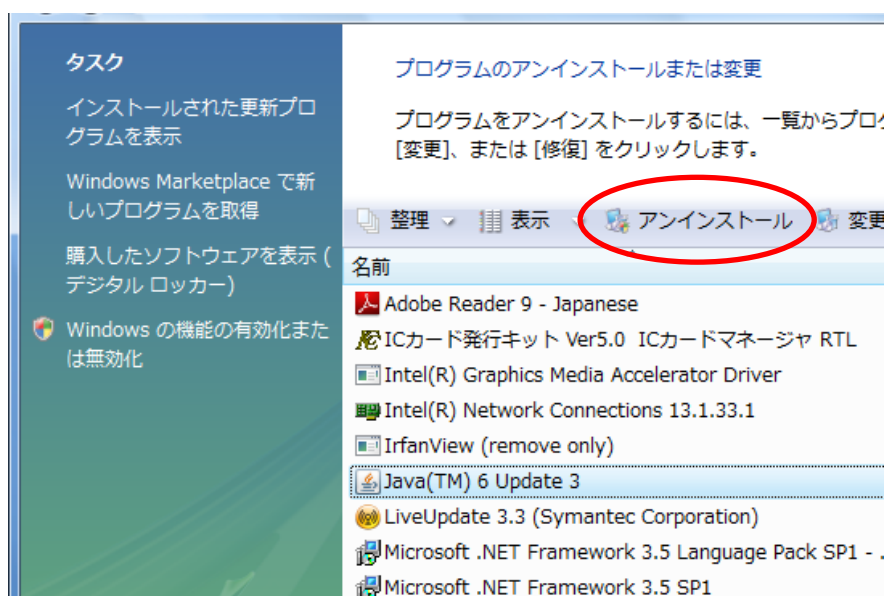


図 3.2-4 プログラムと機能②

- (4) 『図 3.2-5 プログラムと機能③』画面で、「はい」ボタンを押すと、プログラムのアンインストールが始まります。

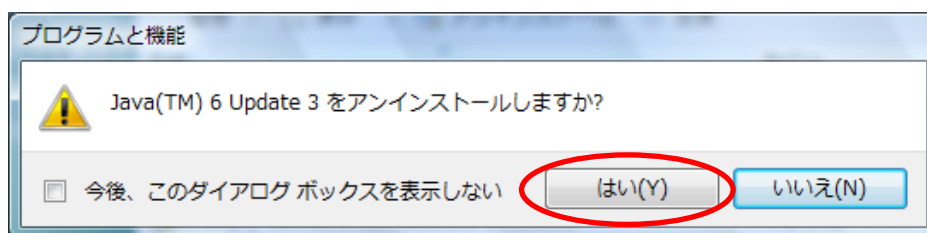


図 3.2-5 プログラムと機能③

- (5) 画面が閉じると、プログラムのアンインストールは終了です。
- (6) 複数の不要な Java バージョンが存在する場合には、同様の手順でプログラムのアンインストールを繰り返して下さい。終わりましたら「プログラムと機能」画面、右上の「×」ボタンで画面を閉じて下さい。
- (7) 不要な Java バージョンのアンインストールが終了しましたら、パソコンを再起動して、第 4 章へお進みください。

第4章 Java 実行環境の設定（ケース①②の場合）

4. 1 Java のインストール

ご使用になるパソコンに Java がインストールされていない場合には、Java をインストールする必要があります。

※下記の操作は「管理者」権限のあるユーザにて行ってください

JRE7のインストールは「4. 1. 1 JRE7の場合」、

JRE8のインストールは「4. 1. 2 JRE8の場合」を参照してください。

4. 1. 1 JRE7の場合

- (1) 電子入札システムポータルサイトより JRE をダウンロードしてデスクトップ等に保存してください。保存したJREのインストールファイルをダブルクリックしてください。
- (2) 以下の画面が表示されます。使用許諾契約書をご確認のうえ、「インストール」をクリックしてください。

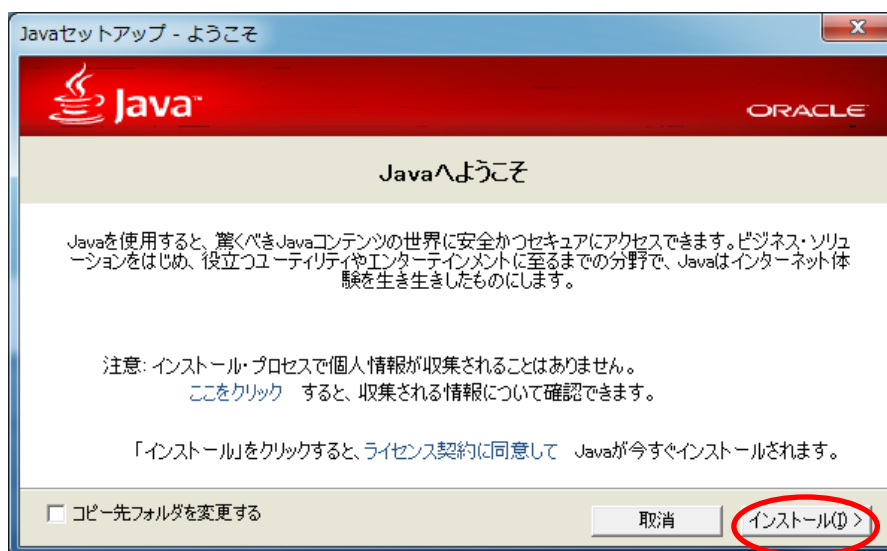


図4.1.1-1 Java インストール画面①

- (3) 以下の画面が表示されます。この画面の表示中は、パソコンの操作は行わないようにしてください。



図4.1.1-2 Java インストール画面②

- (4) 以下の画面が表示されます。『閉じる』ボタンをクリックし、Java 実行環境の導入は完了です。

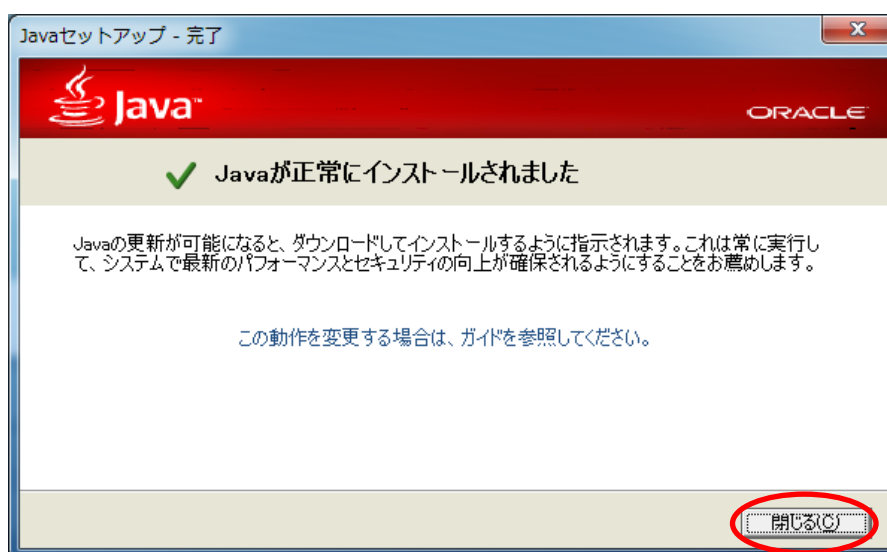


図4.1.1-3 Java インストール画面③

※注 各画面は、OS 等により若干表示が異なる場合があります。

4. 1. 2 JRE 8の場合

- (1) 電子入札システムポータルサイトより JRE をダウンロードしてデスクトップ等に保存してください。保存したJRE のインストールファイルをダブルクリックしてください。
- (2) 以下の画面が表示されます。使用許諾契約書をご確認のうえ、「インストール」をクリックしてください。

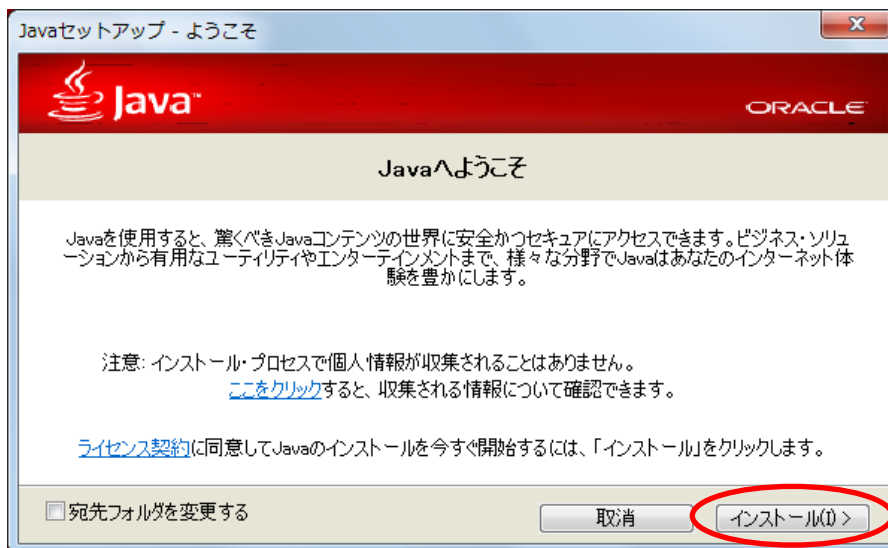


図4.1.2-1 Java インストール画面①

- (3) 以下の画面が表示されます。この画面の表示中は、パソコンの操作は行わないようにしてください。



図4.1.2-2 Java インストール画面②

- (4) 以下の画面が表示されます。『閉じる』ボタンをクリックし、Java 実行環境の導入は完了です。

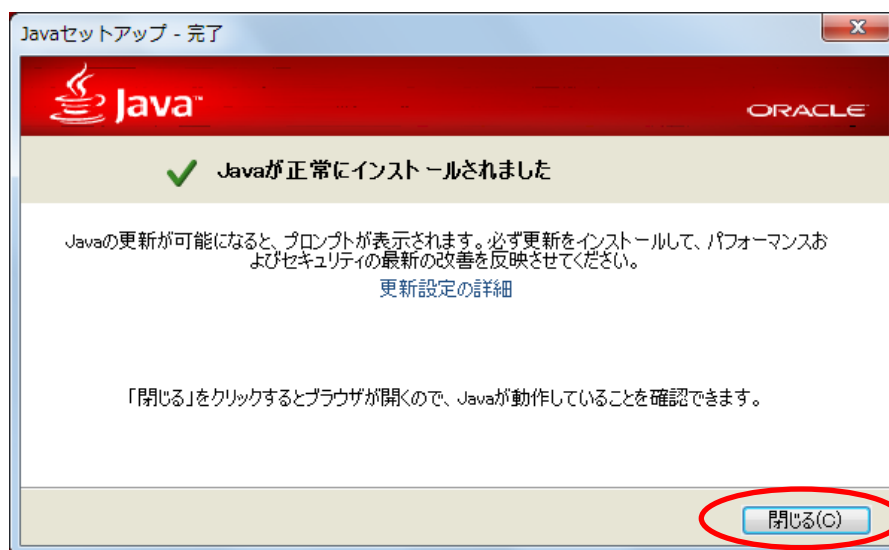


図4.1.2-3 Java インストール画面③

※注 各画面は、OS 等により若干表示が異なる場合があります。

Java のインストール後に以下の画面が表示された場合は、「×」ボタンで閉じてください。



図4.1.2-4 Java のバージョンの確認画面